

小児歯科学

年次	学期	学則科目責任者
4年次	通年	清水 武彦 (小児歯科学)

学習目標 (G I O)	小児歯科学は他の学科目と異にし包括歯科医療を行い、その対象は成長発育の過程にある乳児から20歳前までと広いことから多岐に亘る知識と他科との相互理解を必要とする。心身の成長と顎顔面、歯、口腔軟組織の発育ならびに咀嚼、咬合の発達を形態、構造、機能の面から正常と異常また疾患を対比し、治療を中心とした臨床実習へ進むために基本的な知識を理解し説明できる。
担当教員	清水 武彦、清水 邦彦、荒井 清司、岡本 京、伊藤 龍朗、根本 晴子、前田 隆秀、青木 望、※赤羽 康彦、※有馬 嗣雄、※生田 剛史、※生田 哲、伊藤 奈々、※井上 雄温、※植松 晃樹、※臼井 朗、※太田 宅哉、※岡本 和久、※小川 恭央、小尾 友美、折野 大輔、※倉田 康弘、※倉持 治彦、※栗田 朋治、※小林 亮介、※小宮 城治、※清水 久美子、砂田 怜子、※高澤 竜一郎、※田中 眞理、※谷 博司、※寺田 英史、※中村 佐和子、※中村 均、※中山 務、※西川 康博、※原 昌伸、平井 則光、※松村 東栄、※三好 克実、※山崎 優、※横屋 知恵子、※吉田 明弘
教科書	小児の口腔科学 第3版 前田隆秀 他 学建書院 小児歯科学基礎・臨床実習 大東道治 他 医歯薬出版
実習器材	小児顎模型、石膏歯牙模型、ワックス棒、スチールバー、カーバイドバー、金冠バサミ、乳歯冠、印象材、コバルトクロム線、ラバーダムシート他
評価方法 (E V)	前期講義：前期期間最後（9月12日）に行う平常試験（各80%）と講義中の態度（出席状況を含む）（20%）によって評価する。平常試験の結果に応じて、補講を行う事がある。 後期実習：実習評価（40%）、小テスト（30%）、平常試験（10%）と実習態度（20%）によって評価する。 態度評価は出席状態を含む。前期平常試験の再試、後期平常試験の追、再試験は原則行わない。 前期講義回数の1/5以上または後期実習回数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。 最終評価は、前期50%、後期50%の割合とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	小児歯科というと乳幼児歯科学と誤解しないで欲しい、誕生から20歳前までの成長発育期にある人間を対象とした包括歯科医学であり、予測というロマンに満ちた学問。“小児歯科学は予測の学問である”

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04 (金) 1時限 09:00～10:30	小児歯科学の定義、目的と特異性 小児歯科学の歴史 小児の発育 身体発育の特徴 精神的発育の特徴	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を行えるようになるために、小児の心身の発育を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 小児歯科学とはどのような学問であり、臨床であるかを説明できる。 2. 小児歯科学の発生・変遷とその社会的背景を説明できる。 3. 小児歯科学の包括歯科医療について理解し、他科ならびに周辺医学領域の必要性を説明できる。 4. 発育の原則を述べ正常と異常を対比し理解し説明できる。 5. 乳児から成人前期に至る身体発育の特徴を理解し説明できる。 6. 精神ならびに情緒の発達を述べ小児歯科臨床との関わりを理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児の発育 身体発育の特徴 精神的発育の特徴</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 c 成長発育・発達の特徴 (身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 a 発育区分 (出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期) b 発育期の特徴</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *①小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。</p>	清水 武彦
2014/04/11 (金) 1時限	小児の発育 身体発育の特徴	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を行えるようになるために、小児の心身の発育を理解する。</p>	清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:00～10:30	精神的発達の特徴 小児歯科生理的特徴	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児から成人前期に至る身体発育の特徴を理解し説明できる。 2. 精神ならびに情緒の発達を述べ小児歯科臨床との関わりを理解し説明できる。 3. 小児の体温の変移、血圧、脈波、血液成分等の生理の特徴が説明できる。 <p>【準備学習項目】 小児の心身の発育</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 c 成長発育・発達の特徴（身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 b 発育期の特徴 d 小児の生理的特徴 e 身体成長と精神発達の評価法（Kaup指数、Rohrer指数、BMI、歴年齢、生理学的年齢、発達スクリーニング検査）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2 小児の歯科治療 *①小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。</p>	清水 武彦
2014/04/18（金） 1時限 09:00～10:30	頭蓋顎顔面の発育とその評価法 口腔機能の発達 歯列・咬合の発育	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、頭蓋顎顔面・歯列咬合の発育を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 頭蓋の発育パターンを理解し説明できる。 2. 顔面頭蓋の発育パターンを理解し説明できる。 3. 無歯期から永久歯列に至る歯列咬合の発育変化を理解し説明できる。 <p>【準備学習項目】 頭蓋顎顔面・歯列咬合の発育</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育（歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 b 上顎骨・下顎骨の成長発育の特徴 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 4 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の成長発育 ウ 歯列・咬合の成長発育</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】</p>	清水 武彦
2014/04/25（金） 1時限 09:00～10:30	乳歯、幼若永久歯の特徴 歯の発育と異常 歯の形成 歯の形成異常 萌出の異常 歯の形態・構造の異常 歯の色調の異常	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、歯の形態、発育と異常を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯の発育過程と発育段階とその評価法を理解し説明できる。 2. 歯の発育時期と形成障害とその理由を理解し説明できる。 3. 歯数、形態、構造、色調の異常を理解し説明できる。 4. 幼若永久歯の形態、組織、物理的特徴を述べ、易齲蝕性であることを理解し説明できる。 <p>【準備学習項目】 歯の発育と異常 乳歯、幼若永久歯の特徴</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/25 (金) 1時限 09:00～10:30	乳歯、幼若永久歯の特徴 歯の発育と異常 歯の形成 歯の形成異常 萌出の異常 歯の形態・構造の異常 歯の色調の異常	302教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育（歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 カ 歯の形成・萌出 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 3 歯の異常 ア 過剰歯 イ 歯の先天欠如 ウ 癒合歯、癒着歯、双生歯 エ 異常咬頭・結節 シ エナメル質形成不全〔症〕 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 *③歯（乳歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】	清水 武彦
2014/05/09 (金) 1時限 09:00～10:30	小児歯科診療システム 口腔管理計画 1) 小児の口腔健康管理 2) 診査と診断 3) 集団を対象とする歯科保健 小児の虐待の兆候と対応	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児歯科診療システムと児童虐待の徴候と対応について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 小児の診療体系の流れを理解する。 2. 小児の診察、診療計画、定期健康診査について理解する。 3. 保護者へのインフォームドコンセントについて理解する。 4. 小児歯科での医療面接の特徴について理解する。 5. 虐待の種類、虐待が生じる要因と口腔状態が説明できる。 【準備学習項目】 小児歯科診療システム 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 1 治療計画 ア 治療計画の立案 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 主要な症候 イ 歯・口腔・顎・顔面の症候のとらえ方 a 口腔・顎・顔面の一般的症候（疼痛、腫脹、腫瘍、色調の変化、熱感、出血、癢、硬さの異常、触感の異常、機能障害） 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 2 小児への対応 ウ 診察 エ 評価 必修の基本的事項 11 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 8 医療面接 ア 意義、目的 a 医療情報の収集・提供 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 ⑩基本的診察および検査結果よりの確な診断と治療方針を立案し説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑫小児の虐待の徴候と対応について説明できる。	清水 武彦
2014/05/16 (金)	小児歯科治療時に	【授業の一般目標】	前田 隆秀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	留意すべき小児疾患 心身障害児の歯科医療	<p>小児の歯科治療を理解するために、歯科治療時に留意すべき小児疾患と心身障害児の歯科医療について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先天性心疾患を有する小児の歯科治療を理解する。 2. 免疫不全症を有する小児の歯科治療について説明できる。 3. 出血傾向を有する患児の解説と観血処置時の注意を説明できる。 4. 内分泌疾患を有し易ショック性が疑われる患児の解説と歯科治療を説明できる。 5. 心身障害児の種類とその病態を説明できる。 6. 心身障害児の歯科治療の特徴が説明できる。 <p>【準備学習項目】 小児歯科治療時に留意すべき小児疾患</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 6 全身疾患を有する者への対応 ア 留意すべき疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 3 障害者への対応 ア 障害の概念 イ 障害の分類</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *①口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患（貧血、出血性素因、白血病）とスクリーニング検査法を列挙できる。</p>	前田 隆秀
2014/05/23（金） 1時限 09:00～10:30	小児への歯科的対応	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児への歯科的対応を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児への歯科的対応が説明できる。 2. 歯科診療を行うにあたって知っておくべき小児の心理を理解し説明できる。 3. 年齢別にみた歯科的対応を理解し説明できる。 4. 診療内容からみた歯科的対応を述べ、成人の対応と異なることを理解し説明できる。 <p>【準備学習項目】 小児への歯科的対応</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 2 小児への対応 イ 心理・社会的特徴</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 2 治療の基礎 ケ 小児の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑩小児患者の対応について説明できる。 ⑫小児の虐待の徴候と対応について説明できる。</p>	清水 武彦 前田 隆秀
2014/05/30（金） 1時限 09:00～10:30	小児の齲蝕 小児の齲蝕予防	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の齲蝕と予防を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児齲蝕の年次推移を説明できる。 2. 乳歯齲蝕の特徴を説明できる。 3. 幼若永久歯齲蝕の特徴を説明できる。 4. フッ化物の応用法とその効果を理解し説明できる。 5. シーラントの効果、術式、注意点をあげ、理解し説明できる。 6. 小児のブラッシング指導について説明できる。 <p>【準備学習項目】 小児の齲蝕と予防</p>	清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/30 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の齲蝕 小児の齲蝕予防	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 ア 齲蝕の原因 キ フッ化物の応用法 7 食育と食の支援 ウ 間食指導 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 小児の歯の硬組織疾患 ア 乳歯齲蝕 イ 幼若永久歯齲蝕 ウ 齲蝕のリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。 *③乳歯と幼若永久歯のう蝕の診察、検査と診断を説明できる。</p>	清水 武彦
2014/06/06 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯冠修復 小児の歯内療法	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の歯内療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯冠修復の種類とその適応症が説明できる。 2. 乳歯の歯髄炎の分類が説明できる。 3. 乳歯の断髄法の種類と術式が説明できる。 4. 乳歯の根管治療が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児の歯冠修復 小児の歯内療法</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 4 小児の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ア 乳歯の歯髄疾患 イ 乳歯の根尖性歯周組織疾患 ウ 幼若永久歯の歯髄疾患 エ 幼若永久歯の根尖性歯周組織疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】 *⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎・根尖歯周組織疾患の診察、検査と診断を説明できる。 *⑥乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎・根尖歯周組織疾患の処置法の種類と適応症、予後および手順と留意点を説明できる。</p>	清水 武彦
2014/06/13 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯周疾患 小児の歯肉炎と歯周炎	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の歯周疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 小児の歯周組織の健康状態が認識できて説明できる。 2. 不潔性歯肉炎が説明できる。 3. 思春期前歯周炎が説明できる。 4. 小児の侵襲性歯周炎が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児の歯周疾患</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/13 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯周疾患 小児の歯肉炎と歯周炎	302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 7 小児の歯周病 イ 歯周病への対応 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 7 小児の歯周病 ア 歯周病の特徴 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。	清水 武彦
2014/06/20 (金) 1時限 09:00～10:30	小児期の外科処置 小児の局所麻酔 小児の抜歯	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の外科処置を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 上唇、下唇小帯の切除術の適応と術式を理解し説明できる。 2. 小児期における無痛の局所麻酔の操作法が説明できる。 3. 乳歯の抜歯時の注意点が説明できる。 4. 小児薬用量の算出法を理解し説明できる。 5. 胎児への副作用と小児自身の副作用を理解し説明できる。 【準備学習項目】 小児期の外科処置 小児の局所麻酔 小児の抜歯 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 キ 小帯の異常 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 5 手術基本手技 カ 抜歯 キ 口腔の小手術 9 薬物療法 ウ 薬物動態 カ 用量と反応 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3)-(3) 局所麻酔法 *⑤局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。 E-1-4) 小手術の基本手技 *①抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。【相対的禁忌への対応および小手術の適応症と禁忌を含む。】 *②小手術の合併症（偶発症）を説明できる。 *③抜歯（小手術）に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。 ⑨埋伏歯（智歯を含む）の抜歯法を説明できる。	清水 武彦
2014/06/27 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯の外傷 乳歯ならびに永久歯の外傷	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の歯の外傷を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 乳歯、永久歯の外傷の特徴が説明できる。 2. 乳歯外傷が永久歯に及ぼす影響が説明できる。 3. 乳歯・永久歯の歯冠、歯根破折の処置が説明できる。 4. 乳歯・永久歯の脱臼に対しての処置が説明できる。 【準備学習項目】 小児の歯の外傷 乳歯ならびに永久歯の外傷 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯の外傷 ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過	清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/27 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯の外傷 乳歯ならびに永久 歯の外傷	<p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯の外傷 ア 歯の外傷の状況と影響 イ 診察と診断、治療方針 エ 小児の歯の外傷の予防</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。</p>	清水 武彦
2014/07/04 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の口腔粘膜疾 患	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療ができるようになるために、小児の口腔粘膜疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.小児期の粘膜疾患の病態を説明できる。 2.小児の口腔粘膜疾患の対応法が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児の口腔粘膜疾患</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯・口腔・顎疾患 ス 舌の異常</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯・口腔・顎疾患 サ 萌出嚢胞 シ 上皮真珠 セ Riga-Fede 病 ソ Bednar アфта タ 疱疹性歯肉口内炎 チ 手足口病 ツ ヘルパンギーナ テ Koplik 班</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。</p>	清水 武彦
2014/07/11 (金) 1時限 09:00～10:30	小児歯科と遺伝性 疾患 小児の口腔奇形と 先天奇形症候群	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の遺伝性疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 遺伝性疾患の成因を説明できる。 2. 頭蓋顎顔面の形成異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察し説明できる。 3. 歯の異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察しせつめいできる。</p> <p>【準備学習項目】 小児歯科と遺伝性疾患 小児の口腔奇形と先天奇形症候群</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 1 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常 フ その他の先天異常・遺伝性疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 1 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常 ウ 鎖骨頭蓋骨異形成症 <鎖骨頭蓋異骨症> オ Treacher Collins 症候群 <下顎顔面異骨症> カ Crouzon 症候群 <頭蓋顔面異骨症> ケ 第一第二鰓弓症候群 ソ エナメル質形成不全 {症} タ 象牙質形成不全症 ツ 先天性表皮水疱症 テ 先天性外胚葉形成不全 <先天性外胚葉異形成症></p>	前田 隆秀 清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/11 (金) 1時限 09:00～10:30	小児歯科と遺伝性疾患 小児の口腔奇形と先天奇形症候群	ナ 低フォスファターゼ症 ニ Papillon-Lefevre 症候群 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。	前田 隆秀 清水 武彦
2014/07/18 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合誘導 小児の顎関節症	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児期の咬合誘導と顎関節症を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 永久歯列期の歯列長分析が理解できる。 2. 咬合誘導の理念が理解して説明できる。 3. 咬合誘導の症例をとおしてその適応と術式を説明できる。 4. 保険装置の適応を説明できる。 5. 小児の顎関節症の特徴を説明できる。 【準備学習項目】 咬合誘導 小児の顎関節症 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ア 歯列・咬合異常の要因 ウ 保険 エ 動的咬合誘導 オ 口腔習癖とその対応 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。 *⑨保険処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。	清水 武彦
2014/09/12 (金) 1時限 09:00～10:30	前期平常試験	【授業の一般目標】 前期平常試験 【準備学習項目】 前期講義の内容を理解する。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	清水 武彦 前田 隆秀
2014/10/03 (金) 1時限 09:00～10:30	乳歯の解剖学的特徴 (1)	【授業の一般目標】 乳歯の形態について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 乳白歯の解剖学的形態の特徴を説明できる。 2. 先行乳歯と後継永久歯との違いを説明できる。 【準備学習項目】 乳歯の形態について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 a 歯の形態 (歯種の鑑別) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能	清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/03 (金) 1時限 09:00~10:30	乳歯の解剖学的特徴 (1)	ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 b 歯式 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。	清水 邦彦
2014/10/03 (金) 2時限 10:40~12:10	ガイダンス 器具配布 ワックスカービング (下顎右側第一乳臼歯)	【授業の一般目標】 下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎右側第一乳臼歯の形態を説明できる。 2. 下顎右側第一乳臼歯のワックス彫刻ができる。 【準備学習項目】 下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 a 歯の形態 (歯種の鑑別) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。	清水 武彦 清水 邦彦 清水 清司 荒井 京 岡本 龍朗 伊藤 晴子 根本 隆秀 前田 望 青木 彦 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 馬 剛史 生田 哲 生田 々々 伊藤 雄 井上 温 植松 晃 白井 樹 朗 宅哉 太田 和久 岡本 恭 小川 央 折野 大輔 野 康弘 倉持 治彦 倉持 朋治 栗田 亮介 小林 城治 小宮 治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博 寺田 司 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/03 (金) 3時限 13:00~14:30	ワックスカービング (下顎右側第一乳臼歯)	【授業の一般目標】 下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎右側第一乳臼歯の形態を説明できる。 2. 下顎右側第一乳臼歯のワックス彫刻ができる。 【準備学習項目】 下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 a 歯の形態 (歯種の鑑別) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。	清水 武彦 清水 邦彦 清水 清司 荒井 京 岡本 龍朗 伊藤 晴子 根本 隆秀 前田 望 青木 彦 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 馬 剛史 生田 哲 生田 々々 伊藤 雄 井上 温 植松 晃 白井 樹 朗 宅哉 太田 和久 岡本 恭 小川 央 折野 大輔 野 康弘 倉持 治彦 倉持 朋治 栗田 亮介 小林 城治 小宮 治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博 寺田 司 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/10 (金) 1時限	乳歯の解剖学的特徴 (2)	【授業の一般目標】 乳歯の形態について説明できる。	清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:00～10:30	乳歯の解剖学的特徴 (2)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳歯の歯根形態を説明できる。 2. 乳歯の歯髄について説明できる。 3. 乳歯の歯根吸収について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>乳歯の形態について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能</p> <p>a 歯の形態 (歯種の鑑別)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能</p> <p>c 歯の構造・組成</p> <p>7 人体の発生・成長・発達・加齢</p> <p>イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育</p> <p>a 歯・歯列の成長発育 (歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能</p> <p>*③歯 (乳歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】</p> <p>*④歯髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>*①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】</p>	清水 邦彦
2014/10/10 (金) 2時限 10:40～12:10	ワックスカービング (下顎右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。 2. 下顎右側第一乳臼歯の歯冠および歯根 (一部) のワックス彫刻ができる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能</p> <p>a 歯の形態 (歯種の鑑別)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能</p> <p>*②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲々 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/10 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスカービング (上顎右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>上顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。 2. 上顎右側第一乳臼歯の歯冠および歯根 (一部) のワックス彫刻ができる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲々 伊藤 奈々

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/10 (金) 3時限 13:00~14:30	ワックスカービング (上顎右側第一乳臼歯)	<p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 a 歯の形態 (歯種の鑑別)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 田林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/17 (金) 1時限 09:00~10:30	乳臼歯の歯冠修復 (1)	<p>【授業の一般目標】 乳歯の歯冠修復について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳歯の歯冠修復の種類を説明できる。 2. 乳歯の歯冠修復の適応症を説明できる。 3. 乳歯の歯冠修復の術式を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 乳歯の歯冠修復について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法 1 小児の歯の硬組織疾患 ア 乳歯齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。 *③乳歯と幼若永久歯のう蝕の診察、検査と診断を説明できる。 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】</p>	荒井 清司
2014/10/17 (金) 2時限 10:40~12:10	ワックスカービング (下顎右側第二乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 下顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。 2. 下顎右側第二乳臼歯の歯冠および歯根 (一部) のワックス彫刻ができる。</p> <p>【準備学習項目】 下顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 a 歯の形態 (歯種の鑑別)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 秀隆 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/17 (金) 2時限 10:40～12:10	ワックスカービング (下顎右側第二乳臼歯)		高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/17 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスカービング (上顎右側第二乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 上顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 上顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。 2. 上顎右側第二乳臼歯の歯冠および歯根 (一部) のワックス彫刻ができる。</p> <p>【準備学習項目】 上顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 a 歯の形態 (歯種の鑑別)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉持 康弘 倉田 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/24 (金) 1時限 09:00～10:30	CR窩洞形成	<p>【授業の一般目標】 乳臼歯の窩洞形成を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳臼歯のM0窩洞を説明できる。 2. 乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 3. 乳臼歯のO窩洞を説明できる。 4. 2倍歯に窩洞形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳臼歯の窩洞形成を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉持 康弘 倉田 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/24 (金) 1時限 09:00~10:30	CR窩洞形成	<p>【授業の一般目標】 乳臼歯の窩洞形成を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳臼歯のM0窩洞を説明できる。 2. 乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 3. 乳臼歯のO窩洞を説明できる。 4. 2倍歯に窩洞形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳臼歯の窩洞形成を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】</p>	山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/24 (金) 2時限 10:40~12:10	CR窩洞形成	<p>【授業の一般目標】 乳臼歯の窩洞形成を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳臼歯のM0窩洞を説明できる。 2. 乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 3. 乳臼歯のO窩洞を説明できる。 4. 2倍歯に窩洞形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳臼歯の窩洞形成を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭 折野 大輔 倉持 康弘 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/31 (金) 1時限 09:00~10:30	小児への歯科的対応法	<p>【授業の一般目標】 小児への歯科的対応法を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科診療に必要な小児の心理を理解し説明できる。 2. 年齢別に見た歯科的対応を理解し説明できる。 3. 非協力児の対応法を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児への歯科的対応法を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	伊藤 龍朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/31 (金) 1時限 09:00～10:30	小児への歯科的対応法	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 オ 幼児期、学童期</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 c 成長発育・発達の特徴（身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *①小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。 *⑩小児患者の対応について説明できる。</p>	伊藤 龍朗
2014/10/31 (金) 2時限 10:40～12:10	ラバーダム防湿 コンポジットレジン修復（下顎右側第一、第二乳臼歯）	<p>【授業の一般目標】 小児診療時のポジショニングを理解する。 乳歯を対象としたラバーダム防湿法を説明できる。 乳臼歯のコンポジットレジン修復を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 診療に適したポジショニングを説明できる。 2. 乳歯にラバーダム防湿を施術できる。 3. 乳臼歯のMO窩洞を説明できる。 4. 乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 5. 乳臼歯のO窩洞を説明できる。 6. 人工歯に窩洞形成ができる。 7. 人工歯にコンポジットレジン充填ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳臼歯のコンポジットレジン修復を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼弱永久歯の歯冠修復法 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *⑬診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 剛史 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/31 (金) 3時限 13:00～14:30	ラバーダム防湿 コンポジットレジン修復（上顎右側第一、第二乳臼歯）	<p>【授業の一般目標】 小児診療時のポジショニングを理解する。 乳歯を対象としたラバーダム防湿法を説明できる。 乳臼歯のコンポジットレジン修復を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 診療に適したポジショニングを説明できる。 2. 乳歯にラバーダム防湿を施術できる。 3. 乳臼歯のMO窩洞を説明できる。 4. 乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 5. 乳臼歯のO窩洞を説明できる。 6. 人工歯に窩洞形成ができる。 7. 人工歯にコンポジットレジン充填ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳臼歯のコンポジットレジン修復を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 剛史 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/31 (金) 3時限 13:00~14:30	ラバーダム防湿 コンボジットレジ ン修復 (上顎右側 第一、第二乳臼歯)	<p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *⑩診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/07 (金) 1時限 09:00~10:30	乳歯・幼若永久歯 の歯内療法 1) 間接覆髄法 2) 直接覆髄法 3) 歯髄切断法	<p>【授業の一般目標】 乳歯および幼若永久歯の歯内療法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 間接・直接覆髄法の適応症とその術式を理解し説明できる。 2. 歯髄切断法の種類、適応症、病理組織学的変化、術式を理解し説明できる。 3. 覆髄法、特に暫間的間接覆髄法の適応症と術式を理解し説明できる。 4. 抜髄法ならびに根管充填法の根完成歯との相違点を理解し説明できる。 5. 抜髄法ならびに根管充填法の根完成歯との相違点を理解し説明できる。 6. Apexogenesis と Apexification の術式と治癒過程を理解し説明できる</p> <p>【準備学習項目】 乳歯および幼若永久歯の歯内療法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 4 小児の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ア 乳歯の歯髄疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 4 小児の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ウ 幼若永久歯の歯髄疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 キ 根未完成歯の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎・根尖歯周組織疾患の診察、検査と診断を説明できる。 *⑥乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎・根尖歯周組織疾患の処置法の種類と適応症、予後および手順と留意点を説明できる。</p>	荒井 清司
2014/11/07 (金) 2時限 10:40~12:10	水酸化カルシウム 法による歯髄切断 法(下顎左側第二 乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 歯髄切断 (断髄) 法の術式について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 水酸化カルシウム法による歯髄切断法の術式ができる。</p> <p>【準備学習項目】 歯髄切断 (断髄) 法の術式について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 4 小児の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ア 乳歯の歯髄疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 4 小児の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ウ 幼若永久歯の歯髄疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】 *⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎・根尖歯周組織疾患の診察、検査と診断を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦 有馬 康 生田 剛雄 生田 剛史 伊藤 哲 井上 奈々 植松 雄温 白井 晃樹 太田 朗 岡本 宅哉 小川 和久 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 伶子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/07 (金) 2時限 10:40～12:10	水酸化カルシウム法による歯髄切断法(下顎左側第二乳臼歯)		原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/07 (金) 3時限 13:00～14:30	乳歯用冠支台歯形成(下顎左側第二乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 乳歯用冠の支台歯形成の術式について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 既製乳歯用冠の形成法の術式ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳歯用冠の支台歯形成の術式について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼弱永久歯の歯冠修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】</p>	清水 武彦 清井 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄 植松 晃樹 白井 朗 田井 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/14 (金) 1時限 09:00～10:30	乳臼歯の歯冠修復(2)	<p>【授業の一般目標】 乳歯の歯冠修復について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳歯用冠の適応と術式について理解し説明できる。 2. クラウンフォームの適応と術式について理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 乳歯の歯冠修復について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼弱永久歯の歯冠修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 小児の歯の硬組織疾患 ア 乳歯齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】</p>	荒井 清司
2014/11/14 (金) 2時限 10:40～12:10	乳歯用冠(下顎左側第二乳臼歯) 1) 乳歯用冠の試適 2) 取り込み印象	<p>【授業の一般目標】 乳歯用冠の支台歯形成の術式について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳歯用冠の試適ができる。 2. 乳歯用冠の調整ができる。 3. クラウンループ作成のための取り込み印象ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳歯用冠の支台歯形成の術式について説明できる。</p>	清水 武彦 清井 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦 有馬 嗣雄 生田 剛史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/14 (金) 2時限 10:40~12:10	乳歯用冠 (下顎 左側第二乳臼歯) 1) 乳歯用冠の試適 2) 取り込み印象	<p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼弱永久歯の歯冠修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 2 治療の基礎 ケ 小児の治療 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保険</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】 *⑨保険処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。</p>	生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/14 (金) 3時限 13:00~14:30	クラウンループの 屈曲	<p>【授業の一般目標】 クラウンループ保険装置について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型の調整ができる。 2. クラウンループの外形線の設定ができる。 3. クラウンループの屈曲ができる。</p> <p>【準備学習項目】 保険装置について説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保険</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑨保険処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/21 (金) 1時限 09:00~10:30	保険	<p>【授業の一般目標】 保険装置について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保険の必要性について説明できる。 2. クラウンループについて説明できる。 3. バンドループについて説明できる。 4. ディスタルシューについて説明できる。 5. ナンスのホールディングアーチについて説明できる。 6. リンガルアーチ保険装置について説明できる。 7. 小児義歯について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 保険装置について説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論</p>	岡本 京

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/21 (金) 1時限 09:00~10:30	保隙	各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保隙 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑨保隙処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。	岡本 京
2014/11/21 (金) 2時限 10:40~12:10	クラウンループの作成	【授業の一般目標】 クラウンループ保隙装置について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンループの屈曲ができる。 2. クラウンループの鑲着ができる。 3. クラウンループの研磨ができる。 【準備学習項目】 保隙装置について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保隙 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑨保隙処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。	清水 武彦 清井 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望彦 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/21 (金) 3時限 13:00~14:30	クラウンループの作成	【授業の一般目標】 クラウンループ保隙装置について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンループの鑲着ができる。 2. クラウンループの研磨ができる。 3. クラウンループの装着ができる。 【準備学習項目】 保隙装置について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保隙 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑨保隙処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。	清水 武彦 清井 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望彦 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/28 (金)	動的咬合誘導(1)	【授業の一般目標】	岡本 京

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	歯列周長分析	<p>歯列周長分析について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯列周長分析(小野の分析法とMoyersの分析法)を理解し説明できる。 2. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯列周長分析について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 エ 治療計画 ウ 診断 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育（歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	岡本 京
2014/11/28（金） 2時限 10:40～12:10	歯列周長の分析	<p>【授業の一般目標】 歯列周長分析について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 小野の分析法によって実習症例の歯列周長分析ができる。</p> <p>【準備学習項目】 歯列周長分析について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	<p>清水 武彦 荒井 邦彦 岡本 清司 伊藤 京 根本 龍朗 前田 晴子 青木 隆秀 赤羽 望 有馬 康彦 生田 嗣雄 生田 剛史 伊藤 哲々 井上 奈々 植松 雄 白井 晃樹 太田 朗 岡本 宅哉 小川 和久 折野 恭央 倉田 大輔 倉持 康弘 栗田 治彦 小林 朋治 小宮 亮介 清水 城治 砂田 久美子 高澤 怜子 田中 竜一郎 谷 眞理 寺田 博司 中村 英史 中村 佐和子 中山 均 西川 務 原 康博 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘</p>
2014/11/28（金） 3時限 13:00～14:30	アダムのクラスプの屈曲(1) (上顎右側第一大臼歯)	<p>【授業の一般目標】 アダムのクラスプの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. アダムのクラスプの特徴を説明できる。 2. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 アダムのクラスプの特徴を説明できる</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p>	<p>清水 武彦 荒井 邦彦 岡本 清司 伊藤 京 根本 龍朗 前田 晴子 青木 隆秀 赤羽 望 有馬 康彦 生田 嗣雄 生田 剛史 伊藤 哲々 井上 雄温</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/28 (金) 3時限 13:00~14:30	アダムのクラスプの屈曲(1) (上顎右側第一大臼歯)	<p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	植松 晃樹 白井 宅哉 太田 和久 岡本 恭央 小川 大輔 折野 康弘 野田 治彦 倉持 康弘 栗田 朋治 小宮 亮介 林宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/12/05 (金) 1時限 09:00~10:30	動的咬合誘導(2)	<p>【授業の一般目標】 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 咬合誘導について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	岡本 京
2014/12/05 (金) 2時限 10:40~12:10	アダムのクラスプの屈曲(2) (上顎左右側第一大臼歯)	<p>【授業の一般目標】 アダムのクラスプの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. アダムのクラスプの特徴を説明できる。 2. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 アダムのクラスプの特徴を説明できる</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 秀隆 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小宮 亮介 林宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/05 (金) 2時限 10:40~12:10	アダムのクラスプの屈曲(2) (上顎左右側第一乳臼歯)	*⑧咬合誘導の概念を説明できる。	中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/12/05 (金) 3時限 13:00~14:30	アダムのクラスプの屈曲(3) (上顎左右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 アダムのクラスプの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. アダムのクラスプの特徴を説明できる。 2. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 アダムのクラスプの特徴を説明できる</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦 有馬 康 生田 嗣雄 生田 剛史 伊藤 哲々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/12/12 (金) 1時限 09:00~10:30	歯と歯列の発育	<p>【授業の一般目標】 歯の発育について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳歯および永久歯の発生と歯列の成長を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯および歯列の発育について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育 (歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化 e 歯列・咬合の変化</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	岡本 京
2014/12/12 (金) 2時限 10:40~12:10	アダムのクラスプの屈曲(4) (上顎左右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 アダムのクラスプの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. アダムのクラスプの特徴を説明できる。 2. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/12 (金) 2時限 10:40~12:10	アダムのクラスプの屈曲(4) (上顎左右側第一乳臼歯)	できる。 【準備学習項目】 アダムのクラスプの特徴を説明できる 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。	前田 隆秀 青木 望彦 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/12/12 (金) 3時限 13:00~14:30	シャーミーのコイルスプリングの屈曲(1)	【授業の一般目標】 シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。 【行動目標(SBOs)】 1. シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。 2. スペースリゲーターについて説明できる。 【準備学習項目】 動的咬合誘導について理解する。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望彦 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/12/19 (金) 1時限 09:00~10:30	小児の歯周疾患	【授業の一般目標】 小児の歯周疾患を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 小児の歯周組織の正常像を説明できる。 2. 小児の歯肉炎を説明できる。 3. 小児の歯周炎を説明できる。 【準備学習項目】 小児の歯周疾患を理解する。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】	伊藤 龍朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/19 (金) 1時限 09:00~10:30	小児の歯周疾患	<p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 d 歯周組織の構造・組成 (根尖歯周組織、辺縁歯周組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 7 小児の歯周病 ア 歯周病の特徴 イ 歯周病への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	伊藤 龍朗
2014/12/19 (金) 2時限 10:40~12:10	シャーミーのコイルスプリングの屈曲(2)	<p>【授業の一般目標】 シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。 2. スペースリゲーターについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 動的咬合誘導について理解する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/12/19 (金) 3時限 13:00~14:30	レジンによる床部作製(1)	<p>【授業の一般目標】 レジン床の作製法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。 2. スペースリゲーターについて説明できる。 3. アダムスのクラスプとシャーミーのコイルスプリングを床の中へレジンを埋入できる。 4. レジン床の作製法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 レジン床の作製法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/19 (金) 3時限 13:00~14:30	レジンによる床部 作製(1)	E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。	西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2015/01/09 (金) 1時限 09:00~10:30	小児期の抜歯 1)麻酔法 2)乳歯の抜歯	【授業の一般目標】 乳歯の抜歯について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 局所麻酔法の説明ができる。 2. 乳歯抜去の適応症を説明できる。 3. 乳歯抜去の術式を説明できる。 【準備学習項目】 乳歯の抜歯について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ス 抜歯 a 基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 a 局所麻酔 (局所麻酔法、局所麻酔薬、血管収縮薬、合併症、偶発症) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (3) 局所麻酔法 *⑤局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。 E-1-4) 小手術の基本手技 *①抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。【相対的禁忌への対応および小手術の適応症と禁忌を含む。】 *③抜歯 (小手術)に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (1) 全身管理 *⑥歯科治療時に注意を要する全身疾患(小児も含む)を説明できる。【歯科治療時の対応を含む。】 *⑧小児、妊婦、授乳婦および高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。	根本 晴子
2015/01/09 (金) 2時限 10:40~12:10	レジンによる床部 作製(2)	【授業の一般目標】 レジン床の研磨ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. スペーシリゲーターについて説明できる。 2. レジン床の作製法について説明できる。 3. レジン床の研磨ができる。 【準備学習項目】 レジン床の作製法について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/09 (金) 3時限 13:00~14:30	シャーマーの装置の装着と第一大臼歯の遠心移動	<p>【授業の一般目標】 シャーマーの装置の調製法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. スペーリゲーターについて説明できる。 2. 装置の装着ができる。 3. 第一大臼歯の遠心移動ができる。 4. 歯の移動の後の対応法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 シャーマーの装置の調製法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保隙</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方 エ 動的咬合誘導</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2015/01/16 (金) 1時限 09:00~10:30	小児期の歯の外傷	<p>【授業の一般目標】 小児期の外傷について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳歯外傷の好発年齢と部位を理解し説明できる。 2. 永久歯外傷の好発年齢と部位を理解し説明できる。 3. 外傷の程度とその処置法を乳歯の外傷と比較しながら理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児期の外傷について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯の外傷 ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯の外傷 ア 歯の外傷の状況と影響 イ 診察と診断、治療方針 エ 小児の歯の外傷の予防</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。</p>	根本 晴子
2015/01/16 (金) 2時限 10:40~12:10	外傷歯のワイヤー固定	<p>【授業の一般目標】 小児期の外傷の治療法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 亜脱臼歯の整復ができる。 2. 固定用ワイヤーの屈曲ができる。 3. 永久歯の外傷におけるワイヤー固定処置ができる。</p> <p>【準備学習項目】 小児期の外傷の治療法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/16 (金) 2時限 10:40~12:10	外傷歯のワイヤー固定	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯の外傷 ア 歯の外傷の状況と影響</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯の外傷 イ 診察と診断、治療方針 ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。</p>	<p>太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘</p>
2015/01/16 (金) 3時限 13:00~14:30	後期平常試験	<p>【授業の一般目標】 小児歯科実習で行った内容について理解する。</p> <p>【準備学習項目】 小児歯科実習で行った内容について理解する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	<p>清水 武彦 水邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 秀 青木 隆望 赤羽 康彦 馬羽 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘</p>
2015/01/23 (金) 1時限 09:00~10:30	小児の齲蝕予防(1)	<p>【授業の一般目標】 小児期の齲蝕予防について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 小児の齲蝕予防法を理解し説明できる。 2. フッ化物局所応用について説明できる。 3. 予防填塞について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児期の齲蝕予防について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 キ フッ化物の応用法</p>	<p>清水 邦彦</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/23 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の齲蝕予防(1)	<p>歯科医学総論 総論X 治療 2 治療の基礎 ケ 小児の治療 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 キ フッ化物応用 b 局所的応用</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。</p>	清水 邦彦
2015/01/23 (金) 2時限 10:40～12:10	小窩裂溝填塞法 フッ化物歯面塗布 法	<p>【授業の一般目標】 小児期の齲蝕予防について説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.小児の齲蝕予防法を理解し説明できる。 2.フッ化物局所応用ができる。 3.予防填塞ができる</p> <p>【準備学習項目】 小児期の齲蝕予防について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 キ フッ化物の応用法 歯科医学総論 総論X 治療 2 治療の基礎 ケ 小児の治療 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 キ フッ化物応用 b 局所的応用</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-6) 口腔保健 E-1-6)-(1) 予防処置 ①フッ化物の歯面塗布を実施できる。 ②予防填塞を実施できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。</p>	<p>清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 馬田 剛史 生田 哲 生田 奈々 伊藤 雄温 井上 晃樹 植松 朗 白井 宅哉 太田 和久 岡本 恭央 小川 大輔 折野 康弘 倉田 治彦 倉田 朋治 栗田 亮介 小林 城治 小宮 久美子 清水 怜 砂田 竜一郎 高澤 眞理 田中 博司 谷 英史 寺田 佐和子 中村 均 中村 務 中山 康博 西川 昌伸 原 則光 平井 東栄 松村 克美 三好 優 山崎 知恵子 横屋 明弘 吉田</p>
2015/01/23 (金) 3時限 13:00～14:30	保護者への保険装置の説明	<p>【授業の一般目標】 保護者への保険装置の説明ができる</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.保険装置の必要性を説明できる。 2.保険装置について説明できる。 3.様々な媒体を用いて説明できる。 4.患者や保護者の理解度を確認しながら説明できる。 5.分かりやすい言葉使いと聞き取りやすい話し方ができる。</p> <p>【準備学習項目】 保険装置の種類と適応が説明ができる</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p>	<p>清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 馬田 剛史 生田 哲 生田 奈々 伊藤 雄温 井上 晃樹 植松 朗 白井 宅哉 太田</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/23 (金) 3時限 13:00~14:30	保護者への保険装置の説明	第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保険 【コアカリキュラム】	岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 持田 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2015/01/30 (金) 1時限 09:00~10:30	小児のう蝕予防(2)	【授業の一般目標】 齲蝕予防について説明できる 【行動目標(SBOs)】 1.小児の口腔衛生指導法を理解し説明できる。 【準備学習項目】 齲蝕予防について説明できる 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 6 保健指導 ア 口腔清掃の意義 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 6 保健指導 イ 口腔清掃法 ウ 口腔清掃指導 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ケ 口腔清掃 c 口腔清掃行動 コ 口腔のケア a 口腔衛生管理のための口腔ケア 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。	清水 邦彦
2015/01/30 (金) 2時限 10:40~12:10	保護者へのブラッシング指導	【授業の一般目標】 小児期の齲蝕予防、特に口腔衛生指導について説明できる。 【行動目標(SBOs)】 1.小児の口腔衛生指導法を理解し説明できる。 2.保護者へのブラッシング指導ができる。 【準備学習項目】 齲蝕予防について説明できる 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 6 保健指導 ア 口腔清掃の意義 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理	清水 武彦 荒井 邦彦 岡本 清司 藤本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦 有馬 康 生田 嗣雄 生田 剛史 伊藤 哲 井上 奈々 植松 雄温 白井 晃樹 太田 朗 岡本 宅哉 小川 和久 折野 恭央 倉田 康弘 持田 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/30 (金) 2時限 10:40～12:10	保護者へのブラッシング指導	6 保健指導 イ 口腔清掃法 ウ 口腔清掃指導 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ケ 口腔清掃 c 口腔清掃行動 コ 口腔のケア a 口腔衛生管理のための口腔ケア 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。 F 臨床実習 F-9 小児歯科実習 F-9-3) 保護者へのブラッシング指導 ①分かりやすい言葉使いと聴き取りやすい話し方ができる。 ②保護者の理解度を確認しながら指導できる。 ③仕上げ磨きの方法を指導できる。 ④保護者に練習させながら指導できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。	清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2015/01/30 (金) 3時限 13:00～14:30	後期平常試験解説	【授業の一般目標】 実習中間試験について知識の再確認を行う。 【行動目標 (SBOs)】 1. 実習中間試験の正答を理解する。 2. 自身の小児歯科知識の弱点を理解する。 【準備学習項目】 学年を通じ学んだ内容の再確認 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2015/02/06 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の口腔粘膜疾患	【授業の一般目標】 小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 2. 小児の口腔粘膜疾患の治療法について説明できる。 【準備学習項目】 小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ウ 口腔粘膜の疾患 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患	清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/06 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の口腔粘膜疾患	<p>6 口腔粘膜疾患 ア 単純疱疹 <疱疹性口内炎> イ 帯状疱疹 ウ ヘルパンギーナ エ 手足口病 ミ 溝(状)舌 ム 黒毛舌 モ 地図状舌 リ 口腔粘膜疾患に対する治療 4 軟組織に発生する嚢胞 ア 萌出嚢胞 ウ 粘液嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患</p> <p>*①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 *②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。</p>	清水 邦彦